

学生の皆さんがとっても助かる 「学生納付特例制度」 です

20歳になった学生の皆さん、
国民年金の加入はもうお済みですか？
20歳になると、たとえ学生でも
国民年金への加入が義務付けられ、
月々の年金保険料を支払わなければ
なりません。

国民年金情報

① 老齢基礎年金を受け取るためには、原則として保険料の納付期間等が25年以上必要です。でも、学生納付特例制度の承認を受けた期間は、年金の受給資格要件（25年）に算入されます（※年金額には反映されません）。
また、満額の老齢年金を受け取るために、その後10年間のうちに保険料を納付することができません。ただし、2年以上経過後は保険料に一定の加算額がつきます。

学生納付特例制度のメリット

① 老齢基礎年金を受け取るためには、原則として保険料の納付期間等が25年以上必要です。でも、学生納付特例制度の承認を受けた期間は、年金の受給資格要件（25年）に算入されます（※年金額には反映されません）。
また、満額の老齢年金を受け取るために、その後10年間のうちに保険料を納付することができません。ただし、2年以上経過後は保険料に一定の加算額がつきます。

在学期間中の保険料を後払い

国民年金への加入が義務付けられるといっても、学生の皆さんは収入が無い場合が多く、保険料の納付が困難です。
そこで、学生本人の所得が一定額以下のときに保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。

これは、大学（大学院）、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校などの学生が利用でき、夜間・定時制・通信制の学生も対象となります。
社会保険事務所での審査を経て承認を受けると、今年の4月から翌年3月までの保険料が猶予されます。

毎月第2火曜日は 社会保険出張相談です

「厚生年金の相談や手続きをしたいけど、社会保険事務所まで行くのは大変」とお悩みのあなた、社会保険出張相談があるのをご存知ですか？

熊本西社会保険事務所から派遣された職員が、毎月第2火曜日（祝日の場合はその前日）の午前10時から午後3時まで菊池市中央公民館で出張相談をしています。

厚生年金に関する手続きまたは質問・相談などありましたら、気軽に利用してください。



問い合わせ先
菊池市役所市民課
(25) 1111 または
熊本西社会保険事務所
096 (353) 0141

問い合わせ先

菊池市役所市民課
(25) 1111
または 各総合支所民生課
旭志総合支所 (25) 1000
七城総合支所 (25) 1000

旭志総合支所 (37) 3111
泗水総合支所 (38) 2111

・印鑑
・印鑑
（本人が署名すれば不要）

4月7日(土) 菊池公園で結婚お披露目式

菊池市青年団菊池支部（上村大輔支部長）が、菊池市が進めている「おしどり夫婦の里づくり」をPRしようと、菊池公園で結婚お披露目会を行いました。

菊池市内で飲食店を経営する門川雪子さんなどが中心となり、公園の一角に整備してきた桜が今年初めて花を咲かせることから、何かできないかと団員たちが企画したもの。知人から1組のカップルを紹介されて、今回のお披露目式が実現しました。

新郎新婦は同市に住む田尻義和さん・陽子さんで、2本の夫婦（めおと）桜と満開になったチューリップの中で「おしどり夫婦を目指します」と宣言しました。式には福村市長も駆けつけ「市民を代表して祝福します」とおしどり夫婦の認定証を手渡し、2人の門出を祝いました。

上村支部長は「“青年団”という名前が消えつつある中、若い力でこれからも地域を盛り上げていきたいです」と話されました。



菊池公園一角の花壇で行われた「結婚お披露目式」

4月13日(金) 菊池溪谷山開き

菊池溪谷のシーズン到来を告げる山開きが溪谷入り口の展望所前であり、関係者など約100人が出席して期間中の安全を祈願しました。

菊池溪谷を美しくする保護管理協議会の山口博樹副会長が「菊池溪谷は訪れる人に心の癒しを与えてくれる自然の財産です。この自然を大切にしながら皆さんと力を合わせて守っていきましょう」とあいさつ。関係者とテープカットなどを行いました。

また、県内外で活動する「レトロ・ニュー・ウェーブ」によるバイオリンと二胡のミニコンサートもあり、爽やかなメロディが溪谷に響き、参加者の耳を和ませました。

平成18年の入谷者は約35万人で、九州内外はもとより韓国・中国・台湾などの外国からもたくさんの人が訪れています。



新緑が鮮やかになってきた菊池溪谷での安全祈願

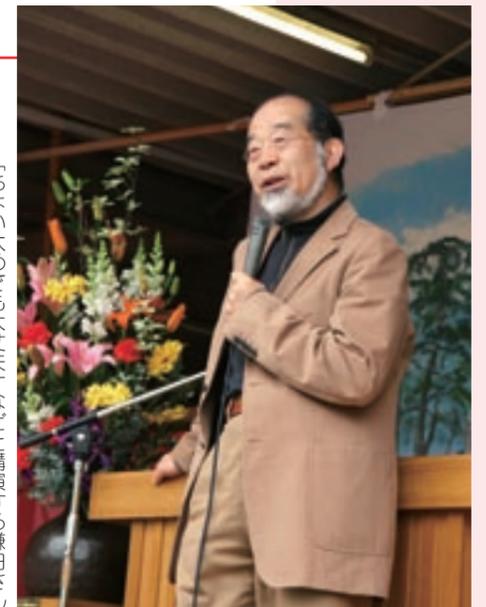
4月15日(日) 2007年 養生園祭

公立菊池養生園診療所（入佐孝三所長）で養生園祭があり、早朝から家族連れなどたくさんの人で賑わいました。

今回は「いのちと病（メタボリックシンドローム）」をテーマに行われ、講演会や健康展、自然食品の展示販売などがありました。

講演会では、長野県諏訪中央病院名誉院長でテレビでも活躍中の鎌田 實さんが「がんばらない・・・でも健康で長生き」と題して命の大切さを訴えました。「命は“人と人”、“人と自然”、“体と心”のつながりで成り立っています。これに気づくことが大切。また、最近のテレビなどが報じているようなひとつの食品で健康にはなれない。優等生でなくてもいい。ちょっと太めでも大丈夫ですよ」などと講演すると、熱心にメモを取る参加者もいました。

この祭りは毎年この時期に行われているもので、「毎年楽しみにしている」という常連の来場者も含め、市外からたくさんの人で賑わっています。



「ちょっと太めでも大丈夫」と講演する鎌田さん